

観光のまちづくりについて

2017年2月24日
(一財)箱根町観光協会

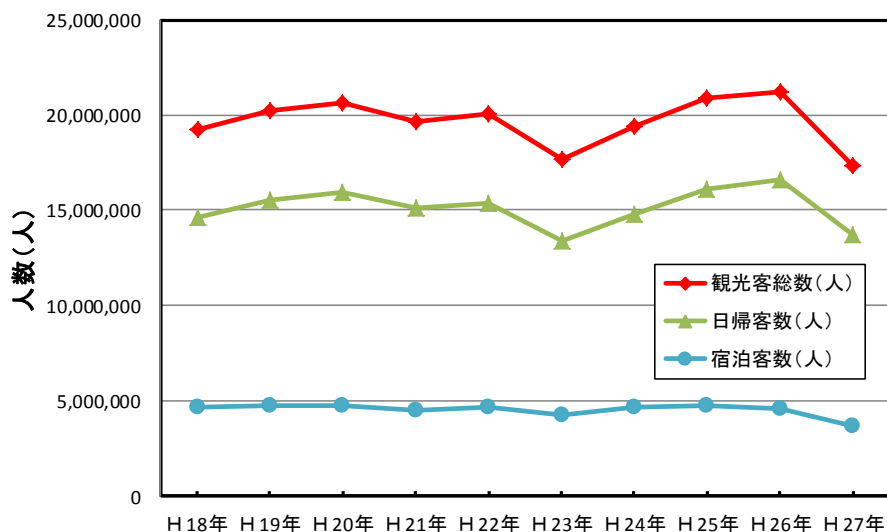
1. 過去10年間の観光客の推移

平成23年の東日本大震災と原発事故による影響、平成27年には大涌谷火山活動の活発化による過去最大の減少があったものの、安定的に2,000万人前後で推移してきた。

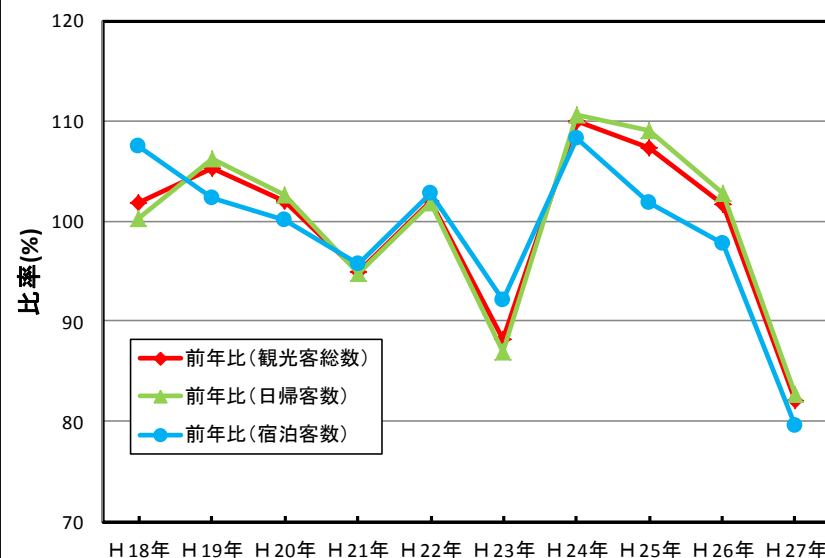
出展：箱根町

年	観光客総数(人)	前年比(観光客総数)	日帰客数(人)	前年比(日帰客数)	宿泊客数(人)	前年比(宿泊客数)
H18年	19,250,000	101.8	14,631,988	100.2	4,618,012	107.4
H19年	20,262,000	105.3	15,539,907	106.2	4,722,093	102.3
H20年	20,677,000	102	15,949,931	102.6	4,727,069	100.1
H21年	19,649,000	95	15,123,843	94.8	4,525,157	95.7
H22年	20,036,000	102	15,389,947	101.8	4,646,053	102.7
H23年	17,671,000	88.2	13,390,361	87	4,280,639	92.1
H24年	19,438,000	110	14,806,049	110.6	4,631,951	108.2
H25年	20,857,000	107.3	16,140,064	109	4,716,936	101.8
H26年	21,190,000	101.6	16,583,249	102.7	4,606,751	97.7
H27年	17,376,000	82	13,710,769	82.7	3,665,231	79.6

過去10年間の観光客推移(人数)



過去10年間の観光客推移(前年比)



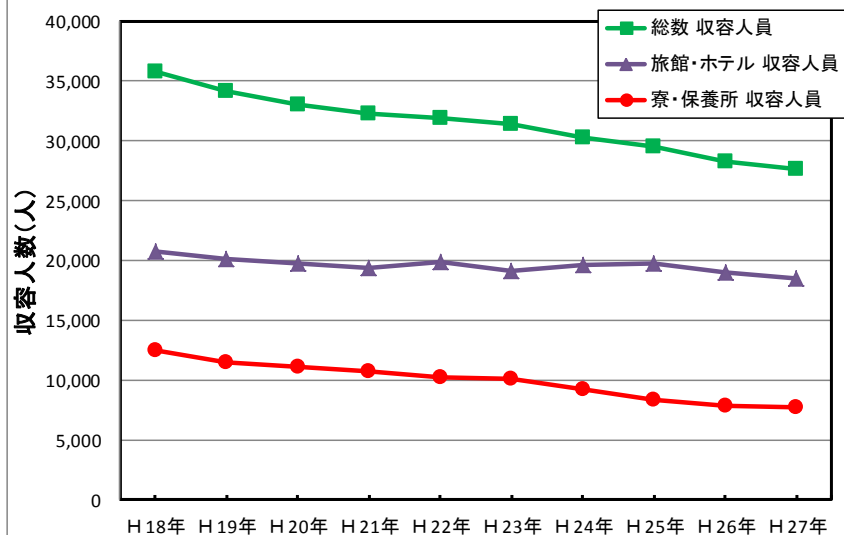
2. 宿泊施設の推移

観光産業の基幹である宿泊施設は10年間で寮・保養所が軒数(39.3%減)、収容人員(38.5%減)ともに減少している。近年、旅館・ホテルは小規模施設の開業が多く軒数ではほぼ横ばい、収容人員(11%減)は減少している。

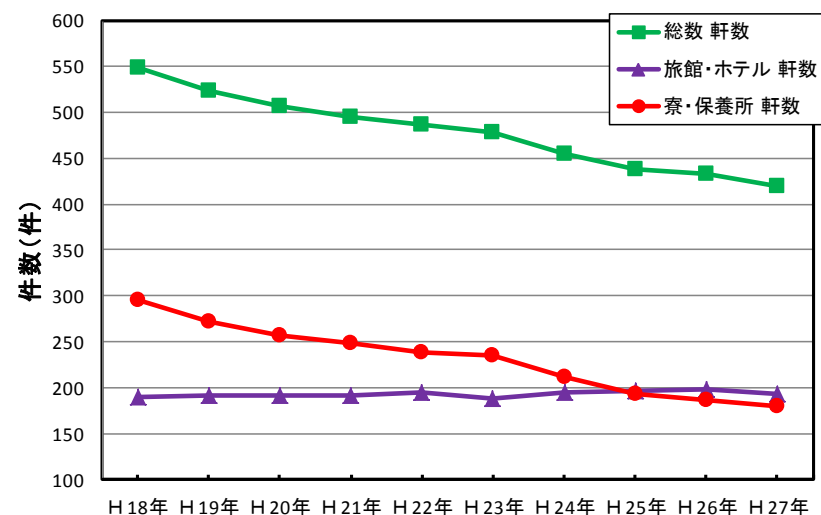
出展:箱根町

施設年	総数		旅館・ホテル		寮・保養所		国民宿舎・YH		ペンション・民宿		キャンプ場・コテージ	
	軒数	収容人員	軒数	収容人員	軒数	収容人員	軒数	収容人員	軒数	収容人員	軒数	収容人員
H18年	549	35,836	189	20,769	295	12,537	5	436	55	1,128	5	966
H19年	523	34,133	191	20,072	272	11,536	5	420	5	1,027	5	1,078
H20年	507	33,084	192	19,698	257	11,060	5	420	48	972	5	934
H21年	495	32,277	192	19,377	249	10,710	5	420	44	886	5	884
H22年	486	31,915	195	19,886	239	10,173	3	292	45	913	4	651
H23年	479	31,463	188	19,116	235	10,157	4	404	45	893	7	893
H24年	454	30,327	195	19,684	211	9,195	2	112	40	769	6	567
H25年	438	29,472	197	19,725	193	8,330	2	112	40	738	6	567
H26年	433	28,226	198	18,986	186	7,806	2	112	41	755	6	567
H27年	420	27,616	193	18,486	179	7,712	2	112	40	741	6	565

宿泊施設の推移(収容人数)



宿泊施設の推移(件数)



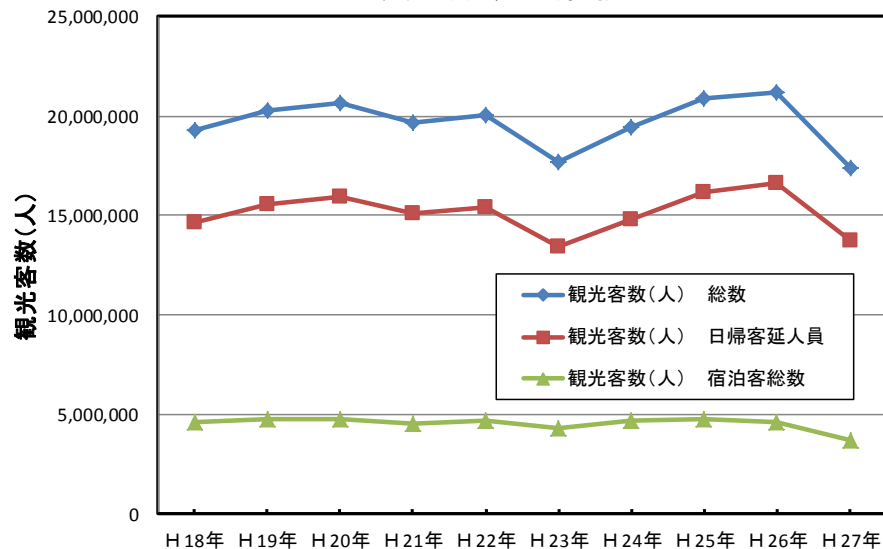
3. 観光客数と消費額

宿泊業における消費額を調査

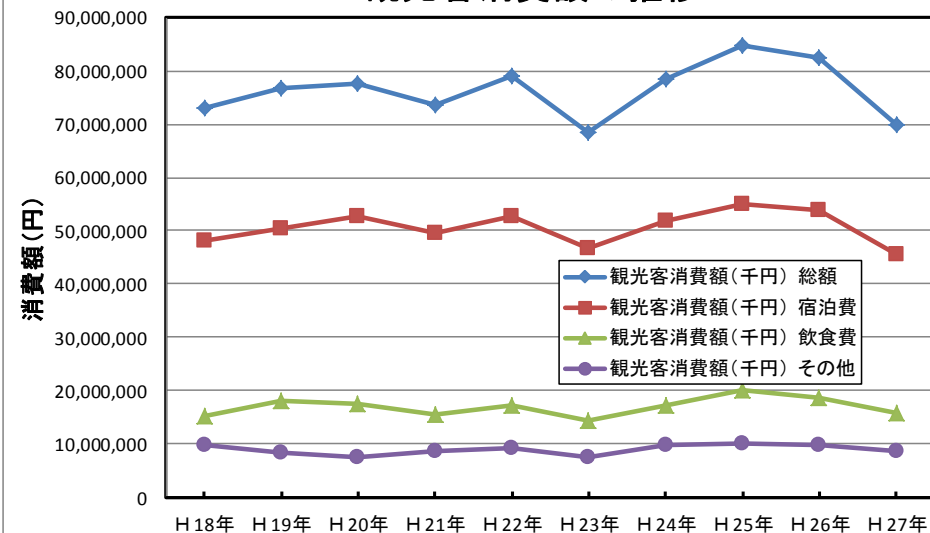
出展：箱根町

年	観光客数(人)			観光客消費額(千円)			
	総数	日帰客延人員	宿泊客総数	総額	宿泊費	飲食費	その他
H18年	19,250,000	14,631,988	4,618,012	73,151,392	48,048,827	15,252,640	9,849,925
H19年	20,262,000	15,539,907	4,722,093	76,908,355	50,346,229	18,143,641	8,418,485
H20年	20,677,000	15,949,931	4,727,069	77,741,830	52,781,449	17,451,209	7,509,172
H21年	19,649,000	15,123,843	4,525,157	73,673,410	49,616,312	15,470,156	8,586,942
H22年	20,036,000	15,389,947	4,646,053	79,022,223	52,659,588	17,268,905	9,093,730
H23年	17,671,000	13,390,361	4,280,639	68,436,416	46,773,229	14,315,034	7,348,153
H24年	19,438,000	14,806,049	4,631,951	78,560,186	51,786,722	17,071,709	9,701,755
H25年	20,857,000	16,140,064	4,716,936	84,888,689	54,892,135	20,006,163	9,990,391
H26年	21,190,000	16,583,249	4,606,751	82,373,793	53,788,520	18,717,651	9,867,622
H27年	17,376,000	13,710,769	3,665,231	69,977,568	45,618,656	15,874,125	8,484,787

観光客数の推移



観光客消費額の推移

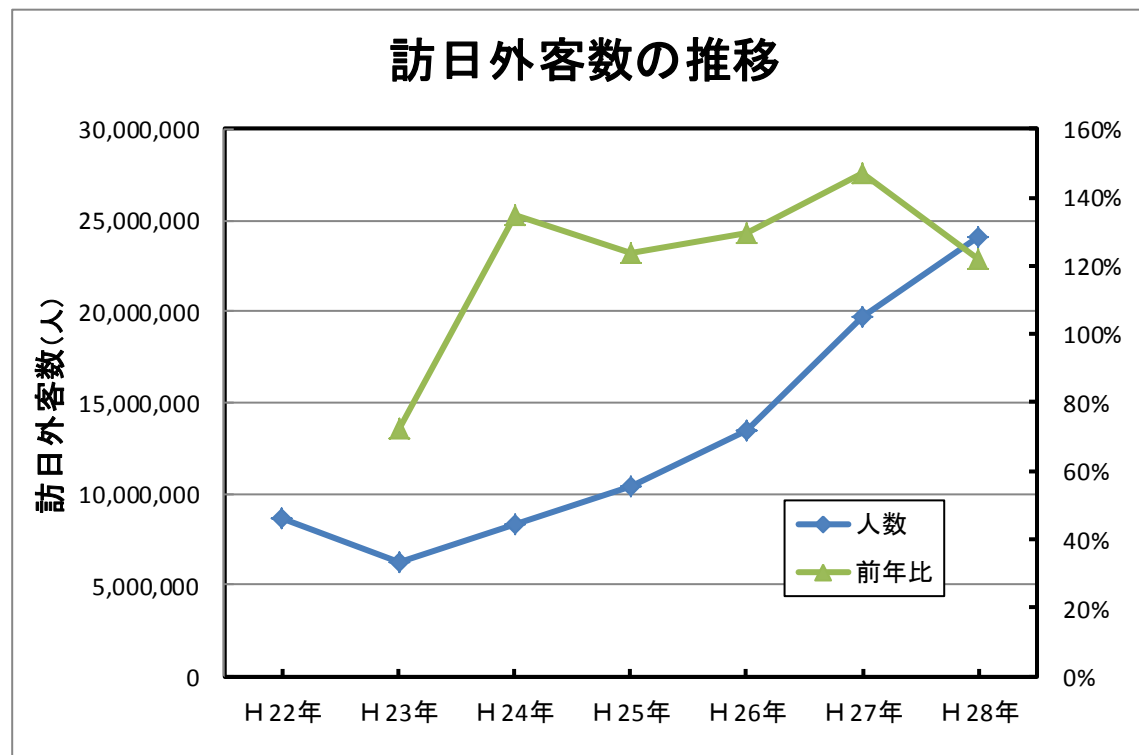


4. 訪日外客数の推移

平成20年10月国土交通省の外局「観光庁」が発足し「観光立国」の推進体制を強化するために設置される。

出典:「日本政府観光局(JNTO)」

年	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年
人数	8,611,175	6,218,747	8,367,872	10,363,904	13,413,467	19,737,409	24,039,000
前年比 (%)		72.2	134.6	123.9	129.4	147.1	121.8



5. 訪日外客数の伸び

政府の外客誘致政策やLCCの就航などがあり目標を上回る伸びが続いている。

出典:「日本政府観光局(JNTO)」

国・地域	H27年	H28年	伸率(%)	順位
中国	4,993,689	6,373,000	127.6	1
韓国	4,002,095	5,090,300	127.2	2
台湾	3,677,075	4,167,400	113.3	3
香港	1,524,292	1,839,200	120.7	4
米国	1,033,258	1,242,700	120.3	5
タイ	796,731	901,400	113.1	6
豪州	376,075	445,200	118.4	7
マレーシア	305,447	394,200	129.1	8
シンガポール	308,783	361,800	117.2	9
フィリピン	268,361	347,800	129.6	10
英国	258,488	292,500	113.2	11
カナダ	231,390	273,100	118	12
インドネシア	205,083	271,000	132.1	13
フランス	214,228	253,400	118.3	14
ベトナム	185,395	233,800	126.1	15
その他	1,357,019	1,552,200	114.4	
合計	19,737,409	24,039,000	121.8	

6. 宿泊客総数に占める外国人の伸び

箱根町においても東日本大震災の影響が薄れた平成25年からの伸びが著しく、平成27年には日本人が減少したことも相まって外国人の宿泊客総数のシェアが10%を超えた。

出展：箱根町

年	宿泊客総数	(内)日本人	前年比	シェアー	(内)外国人	前年比	シェアー
H18年	4,618,012	4,512,915	107.4	97.7	105,097	146.4	2.3
H19年	4,722,093	4,572,119	102.3	96.8	149,974	142.7	3.2
H20年	4,727,069	4,579,015	100.1	96.9	148,054	98.7	3.1
H21年	4,525,157	4,399,816	95.7	97.2	125,341	84.7	2.8
H22年	4,646,053	4,513,491	102.7	97.1	132,562	105.8	2.9
H23年	4,280,639	4,217,911	92.1	98.5	62,728	47.3	1.5
H24年	4,631,951	4,538,718	108.2	98	93,233	148.6	2
H25年	4,716,936	4,548,697	101.8	96.4	168,239	180.5	3.6
H26年	4,606,751	4,389,393	97.7	95.3	217,358	129.2	4.7
H27年	3,665,231	3,287,570	79.6	89.7	377,661	173.8	10.3

7. 国内観光マーケットの現状

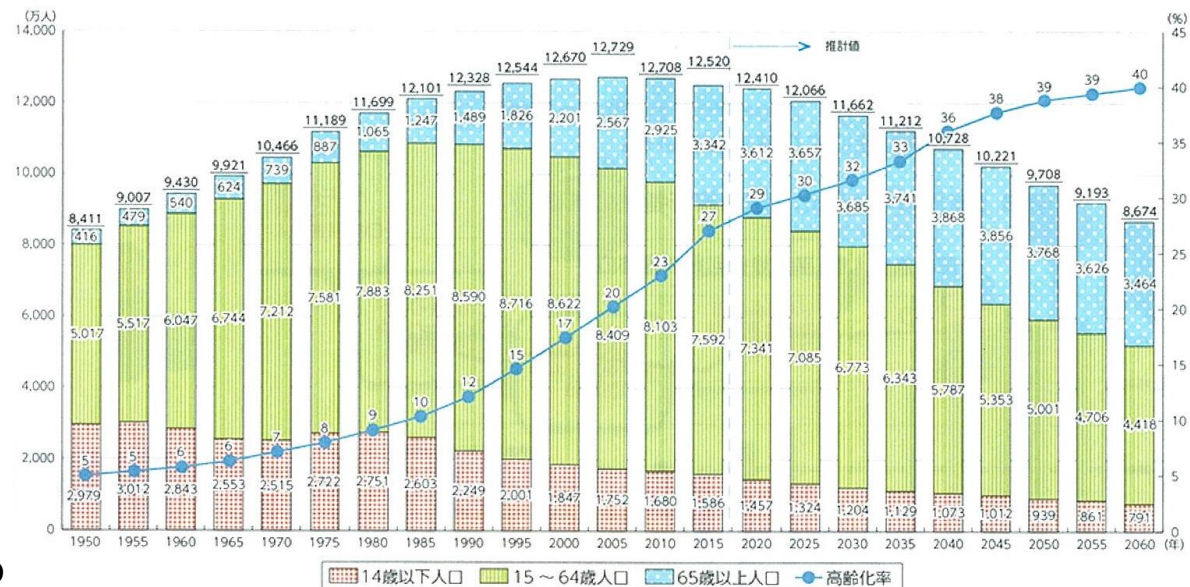
出展：観光マーケティング専門人材研修プログラム 資料

2005年の我が国の出生人口数は約106万人、死亡人口数は約108万人、人口の自然増加数は約2万人減となり、高齢化率は21.0%と世界のトップクラスで、我が国は人口減少局面に入ったといわれている。国勢調査によると、2010年の我が国の生産人口は8,000万人以上（総人口は1億2,806万人）であるが、2030年には、生産人口は6,700万人ほどに減少すると見込まれており、総人口も1億1,600万人あまりに減少する。急激な人口の減少は、ものづくり大国で世界を席卷した日本のエンジンそのものが縮小することとなる。日本を取り巻く環境には厳しいものがあります。また、人口減少のスピードは地方においても顕著なものになり、人口減少による地方経済が衰退するなどの問題を克服するため、今後、我が国に新たな成長エンジンが求められる。

その一つは、「観光」。

観光は、宿泊・交通・飲食・娯楽など幅広い関連産業に経済波及効果や雇用機会の創出などをもたらすとともに、個々の事業者の生業だけでなく、地域に対する大いなる役割を担い、地域経済を潤し、地域経済の活性化に寄与している。それから、観光は地域の定住人口減少の歯止めをかける手段としても期待できる。

図表1：日本人口の推移



出典：総務省平成28年版 情報通信白書「人口減少社会の到来」

2015年までは総務省「国勢調査」（年齢不詳人口を除く）、

2020年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成24年1月推計）」（出生中位・死亡中位推計）

7. 国内観光マーケットの現状

国内旅行者数は2003年から減少傾向で、また、その消費額は2006年から2013年までに6.5兆円減少している。失われた四半世紀と言われる時代、日本の国内旅行市場は苦しい戦いを余儀なくされた。この環境を前提に、観光振興を柱とした新たな組織体を考えていかなければならない。

図表2：旅行市場の変化（旅行消費額の推移）



**2006年→2013年
6.5兆円の減少！**

図表3：旅行市場の変化（国内旅行者数の推移）



**国内旅行の人数は
年々減少している！**

(出所：JTBプレスリリース) ※2015年はJTB推計

8. 箱根町の「観光産業」におけるSWOT分析

SWOT分析		外部環境		
		O (機会)	T (脅威)	
		<ul style="list-style-type: none"> ■ インバウンド市場の急成長 ■ 情報を得られるツールの成長 (高度情報化社会の到来) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 全国的な交通網の発達 (立地の優位性が薄れる?) ■ 競合観光地の成長 ■ 全国的な人口減 	
内部環境	S (強み)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 首都圏からみた立地 ■ 豊富な観光資源 	<p>S(強み)×O(機会)の戦略</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 立地・観光資源を活かしたインバウンドの取り込み ○ 様々な情報ツールへの積極的活用 	<p>S(強み)×T(脅威)の戦略</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 利便性を向上させる周遊施策 ○ 競合観光地のさらに上をいく観光行政に係る組織・仕組みづくり ○ リピーター・インバウンド両面を実現させる特徴的な誘客施策の検討
	W (弱み)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 新規観光資源の発掘意欲が低い ■ マスメディアとのリレーション ■ 5つのエリアの連動性が弱い ■ 町財政の逼迫 ■ マーケティングデータが乏しい 	<p>W(弱み)×O(機会)の戦略</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域を巻き込んだ新規観光資源の早期発掘と各種情報の吸い上げ機能構築 ○ メディアリレーション構造の構築 ○ マーケティング機能の構築 	<p>W(弱み)×T(脅威)の戦略</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「観光経済の低迷」=「町財政の逼迫」=「住民サービスの低下」という構造を理解のもと、当町の向かうべき方向性を明確にし、計画と執行を行える仕組みづくり

どの戦略に基づく施策、仕組みなのか、そして成果は何なのかを常に意識した**観光地経営**が必要

9. 目指すべき方向性(イメージ)

